

問1 北海道の道東、太平洋沿岸に位置する釧路市周辺の夏季の気候について、気温が上がりにくい理由を説明したものと最も適切なものはどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮の影響を受けて冷やされ、霧が発生して日照を遮るため。
2. 北西から吹く乾いた季節風が、大雪山系を越える際にフェーン現象を引き起こし、雲を消し去ってしまうため。
3. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風が、山地にぶつかることで上昇気流となり、内陸部に大量の降雨をもたらすため。
4. 周囲を高い山々に囲まれた盆地特有の地形により、夜間に冷え込んだ空気が日中も地表付近に滞留し続けるため。

問2 知床で行われている、自然環境の保全と観光利用の両立を目指す「エコツーリズム」の考え方に基づいた具体的な取り組みとして、不適切なものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 自動車による排気ガスや騒音、渋滞を抑えるために、一部区間で車両の乗り入れを規制する。
2. 地域の自然に詳しいガイドが同行し、ルールを守りながら自然を深く理解してもらおうツアーを実施する。
3. 自然環境を保護しつつ、さらに多くの観光客を誘致するために、山頂まで通じる新しい高速道路を建設する。
4. 希少な植物を踏みつけないよう、散策路を限定したり木道を整備したりする。

問3 日本の都道府県別の統計において、空港の数が14か所と全国で最も多く、新幹線の駅の数か所設置されている都道府県があります。この地域において、これほど多くの空港が設置されている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間で効率的に結ぶ交通手段が必要であるため
2. 険しい山脈が中央部を走っているため鉄道や道路の建設が難しく、空路が唯一の移動手段となっているため
3. 四方を海に囲まれた島国のような環境であり、本州との往来には航空機を利用する以外の方法がないため
4. 世界遺産の登録数が国内で最も多く、海外からの観光客を各地の観光地へ直接送客する必要があるため

問4 北海道において、近年、冬季の外国人宿泊者数が夏季の宿泊者数を上回るほどに急増している背景として、最も適切な理由はどれですか。（2018年 山形公立入試 類似）

1. 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。
2. 冬季は夏季に比べて航空運賃や宿泊代金が大幅に安くなるよう、国と地方自治体が連携して大規模な割引政策を継続しているため。
3. 夏季の北海道は梅雨の影響で天候が不安定になることが多く、天候の安定した冬季に観光客が集中するようになったため。
4. 冬季の農閑期を利用して、外国人観光客を対象とした大規模な農作業体験ツアーが全道各地で定着したため。

問5 北海道の開拓や歴史的背景に関連して、札幌周辺の状況を説明した記述として正しいものを次の中から選びなさい。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. アイヌ民族の言葉を由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。
2. 蝦夷と呼ばれた人々が独自の地名を付け、江戸時代に大規模な稲作を行うために石狩平野の扇状地が開発された。
3. アイヌ民族の居住区を確保するため、明治政府は石狩平野を聖域として保護し、市街地の開発を禁止した。
4. 本州からの移住者が開拓使の言葉で新しく命名した地名が定着しており、現在は十勝平野に代わる大規模農地となっている。

問6 石狩川の上流域に位置し、旭川市などを中心とする上川盆地で見られる大規模な農業の特色として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である
2. 冷涼な気候を活かして、牛を飼育し生乳を生産する酪農が最も盛んな地域である
3. 大規模な機械を用いた、小麦やてんさい（ビート）を生産する畑作が中心の地域である
4. 夏の涼しさを利用して、キャベツやレタスなどを出荷する高原野菜の栽培が中心である

問7 北海道の日本海側から太平洋側にかけての地形断面図を分析したとき、中央部の険しい山地を挟んで西側と東側に位置する平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 西側に石狩平野、東側に十勝平野
2. 西側に十勝平野、東側に石狩平野
3. 西側に根釧台地、東側に十勝平野
4. 西側に石狩平野、東側に根釧台地

答え合わせ・解説

問1	答え 1 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮の影響を受けて冷やされ、霧が発生して日照を遮るため。	釧路市周辺を含む北海道東部の太平洋沿岸では、夏に南東から湿った季節風が吹きます。この風が、千島列島から南下してくる冷たい海流（寒流）である親潮の上を通る際に急激に冷やされ、濃い海霧が発生します。この霧が広範囲を覆って太陽の光を遮るため、夏でも気温が上がりにくいという気候特性が見られます。
問2	答え 3 自然環境を保護しつつ、さらに多くの観光客を誘致するために、山頂まで通じる新しい高速道路を建設する。	エコツーリズムとは、地域の自然や文化の価値を伝え、その保全に責任を持ちながら観光を行う仕組みです。知床では、過去に道路の開通が自然環境への負荷を増大させた経緯があるため、新たな大規模な道路建設などの開発は、環境保全と観光の両立という方針に反します。
問3	答え 1 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため	北海道は日本の総面積の約22%を占めるほど広大であり、札幌や函館、旭川、釧路といった主要都市間の距離が非常に離れています。そのため、移動時間を短縮し、迅速な物流や人流を確保するために、道内各地に多くの空港が整備されました。また、2016年には北海道新幹線が開通したことで、現在は空路だけでなく、新幹線による陸路での本州との接続も強化されています。
問4	答え 1 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。	北海道の冬季観光は、海外から「JAPOW（Japan Powder Snow）」と称賛される質の高い雪を目的としたスキー・スノーボード客によって牽引されています。加えて、さっぽろ雪まつりなどの冬のイベントも国際的な認知度が高まっており、これらが2012年から2016年にかけての宿泊者数急増の主な要因となりました。一方、北海道には本州のような梅雨がほとんどないため、天候を理由とした夏季の敬遠は当てはまりません。
問5	答え 1 アイヌ民族の言葉を由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。	北海道の多くの地名は、先住民族であるアイヌ民族の言葉に漢字を当てはめたものです。明治時代に入ると、警備と開拓を兼ねた屯田兵が各地に置かれ、石狩平野の扇状地などを中心に札幌の近代的な街づくりが進められました。江戸時代までは本格的な稲作は行われておらず、明治以降の技術改良によって北限が広がりました。
問6	答え 1 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である	北海道の旭川市周辺に広がる上川盆地は、かつては泥炭地などが広がる耕作に不向きな土地もありましたが、大規模な土地改良と石狩川の水の利用によって、日本有数の稲作地帯へと発展しました。北海道において酪農が盛んなのは主に根釧台地、畑作が盛んなのは十勝平野といったように、地域ごとの農業の特色を区別することが重要です。
問7	答え 1 西側に石狩平野、東側に十勝平野	北海道の中央部にある大雪山系などの山地を境にして、西側（日本海側）には石狩川の下流に広がる石狩平野があり、東側（太平洋側）には大規模な畑作が行われている十勝平野が位置しています。